

『海女研究会』 2010.4.26

海女をどう残すのか？

常 清秀(三重大学)

視点

新しい漁村づくりにおける
海女漁業の果たす役割

海女漁業を残す理由

□ 漁村社会の再構築における意義

漁家経営安定・所得の向上

女性労働力活用によるメリット

□ 食文化の豊かさの実現における意義

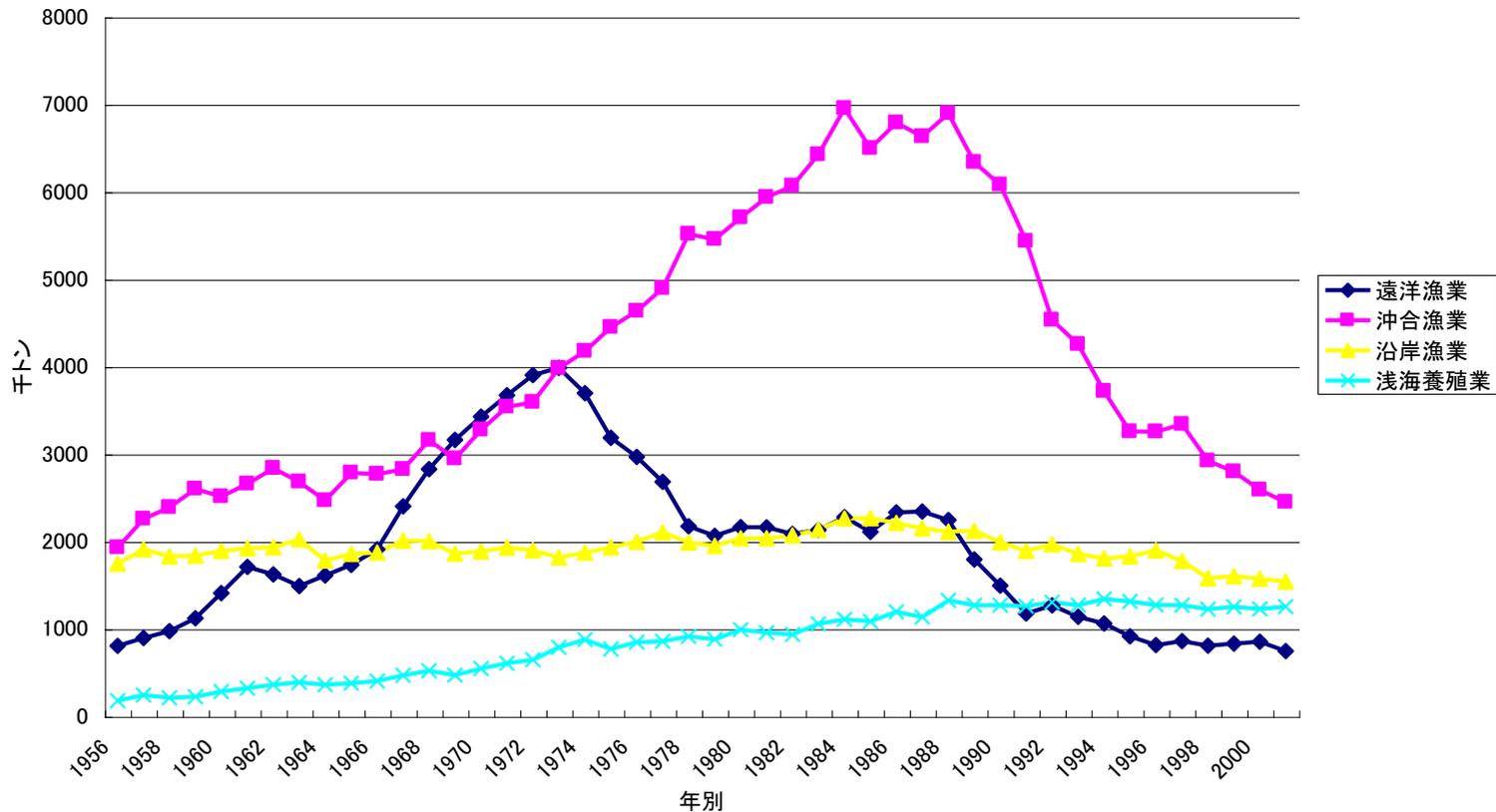
海女漁が対象とする水産資源という観点からみれば、日本の魚食文化の豊かさの実現に期待できる

□ 漁村文化の伝承・伝達への貢献

海女漁業は漁村文化の一つであり、明治20年代以降、日本海女の活発な出稼ぎにより、漁村文化と漁業技術の伝承・伝達に貢献してきた(塚本先生報告により)

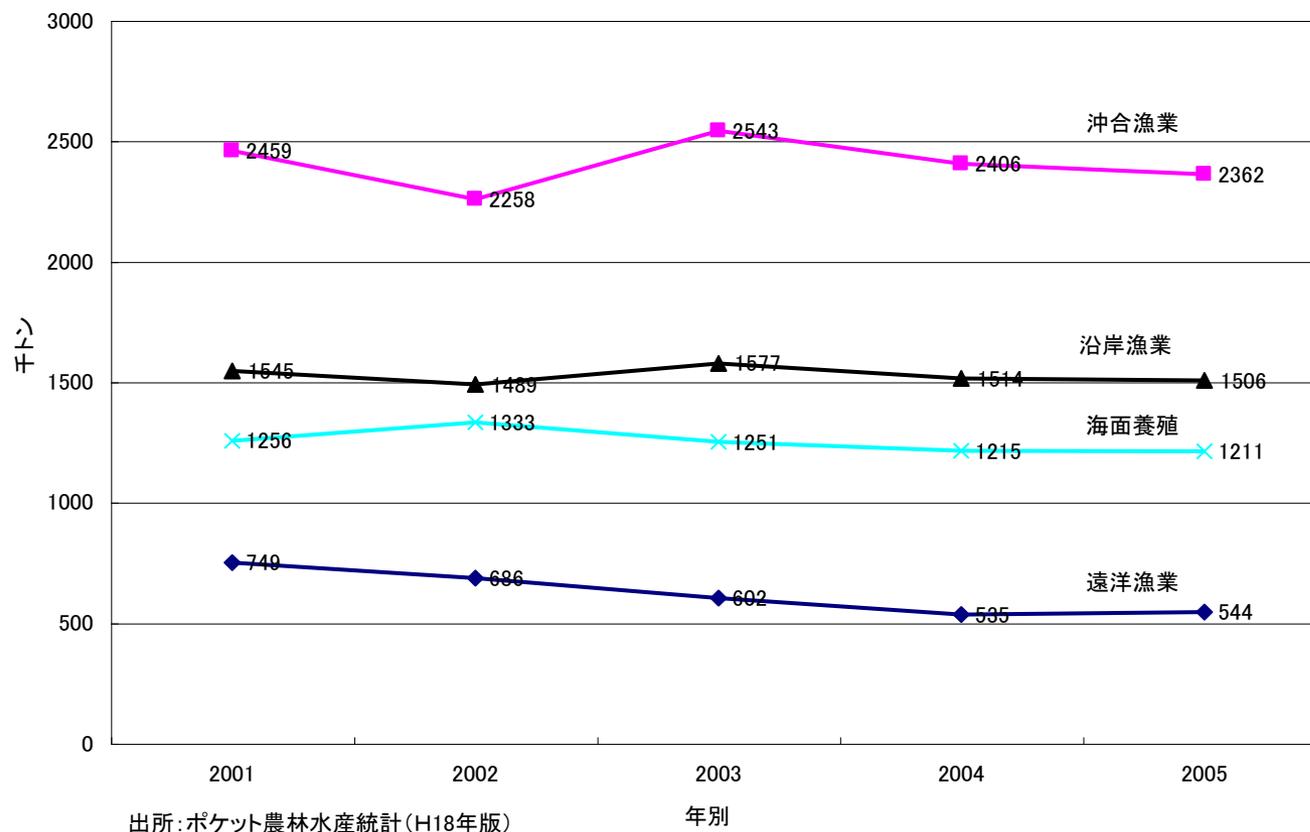
日本の漁業生産構造の特徴 —遠洋・沖合・沿岸・海面養殖—

資料 漁業種類別生産量の推移



続き—2000年以降の動向—

資料3. 部分別生産量の推移



漁家経営改善の必要性

□ 水揚げ金額の推移

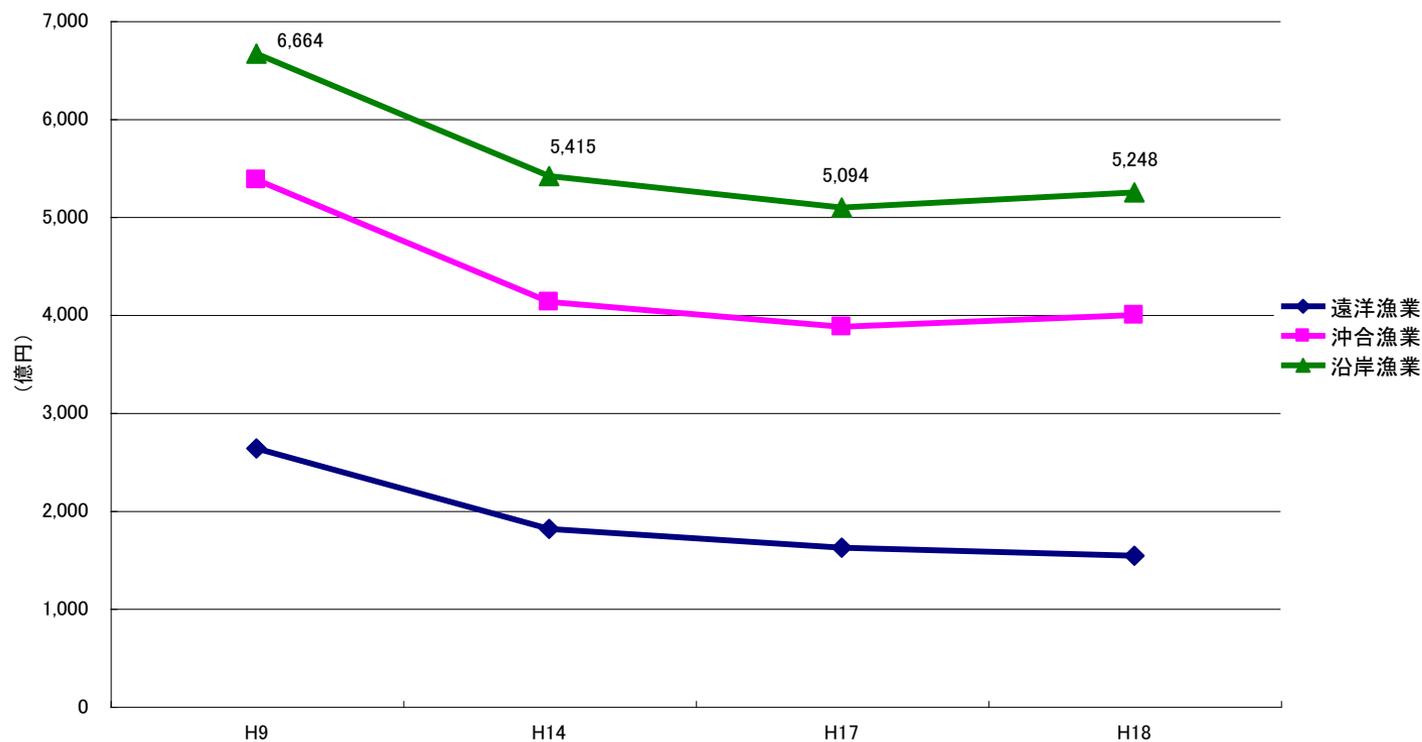


図1. 海面漁業部門別生産額の推移

資料:「水産白書」(H21年版)より作成

沿岸漁業の漁業生産における位置

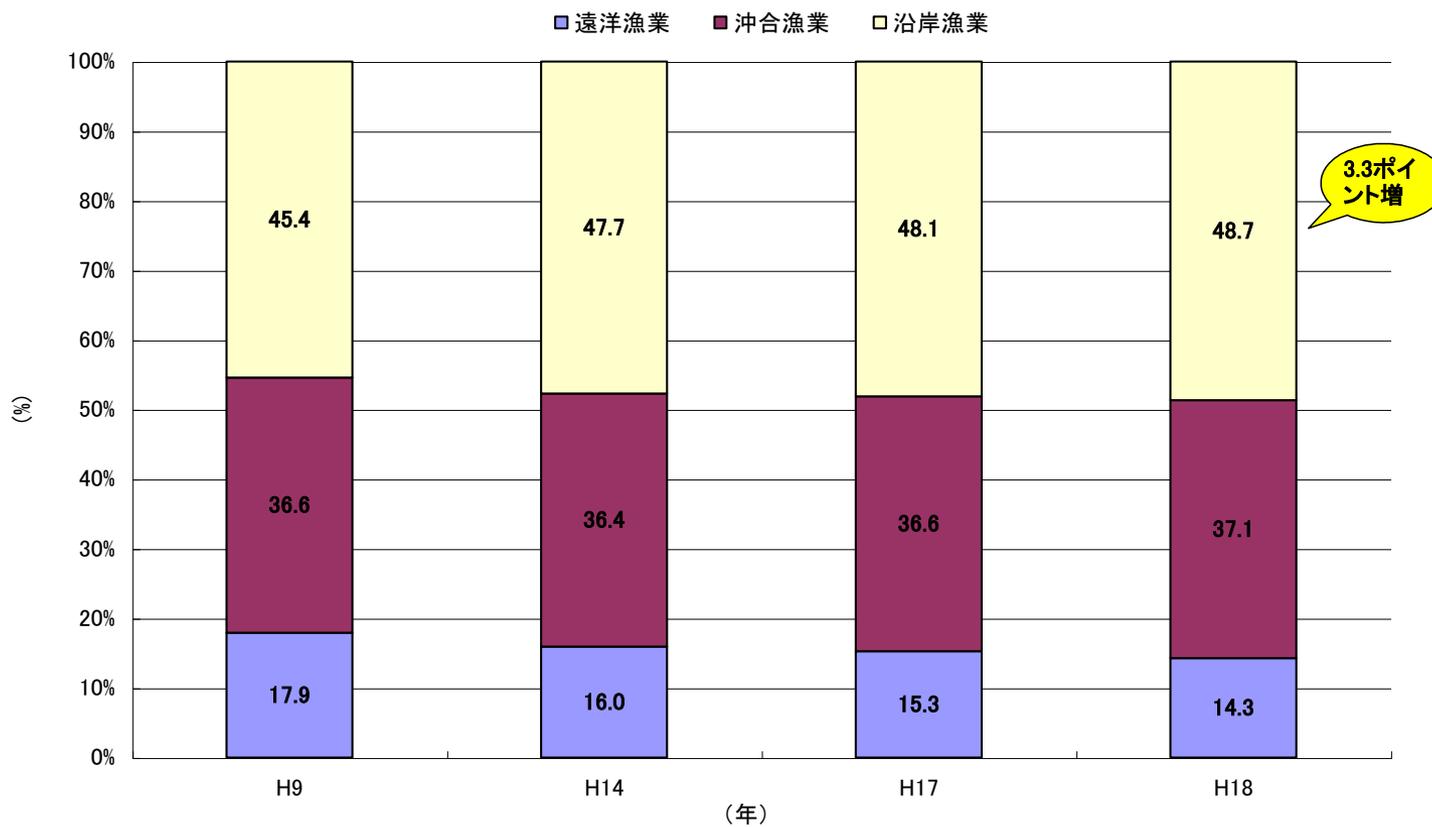


図2. 漁業部門別海面漁業総生産額に占める割合

資料:「水産白書」(H21年版)より作成

沿岸漁業の「回帰」

沿岸漁家経営の実態

□ 沿岸漁家漁労所得の推移

表1. 沿岸漁家の漁労所得の推移

	単位:万円						
	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19
沿岸漁船漁家	225.7	226.7	215.6	215.3	214.3	246.6	274.2
海面養殖漁家	686.9	602.3	570.8	626.2	611.4	507.6	538.4

資料:「水産白書」(H21年版)より

□ 海女漁による所得

表2. 鳥羽市海女漁業による所得(H6年の時点)

石鏡(いじか)

単位:万円

業者別	A	B	C	D	E	F	平均
所得	117.7	84.6	189.3	126.8	96	181.9	132.7

安乗(あのり)

業者別	G	H	I	J	平均
所得	227.4	261.7	421.8	52.2	240.8

資料:坂田美穂「海女の就業構造と漁業管理に関する研究」(修士論文)により

注:坂田氏は当研究室の平成7年の修了生

海女漁が漁家経営の助けになる

女性労働力の活用によるメリット

□ 漁家経営の助けになる

日本沿岸漁業経営はほとんど家族経営である。

家族経営漁家における既婚女性の仕事内容：

漁業生産(補助労働がメイン) + 家事・育児



労働の効率性の高低が生活に与える影響が大きいと思われる

□ 女性就労機会の確保による漁村社会の過疎化・高齢化の緩和

- ・漁村に若い女性の居場所作りと男性漁業者の定着率の向上
- ・漁村人口増加との繋がり
- ・漁村のイメージ改善(明るさが増す?)

海女漁業の効率性 I

図6 石鏡地区における海女のライフタイム

	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時
海女漁業の操業		家事			出漁 用意	操業	休憩・昼食		操業	休憩	セ リ	家事 →						
カキ養殖場勤務		家事	通 勤	選別作業			休憩 昼食	選別作業		セ リ		家事 →						
漁船漁業の同乗		網揚げ			出漁 用意	操業	休憩・昼食		操業	休憩	セ リ	しかけ →						

出所;ヒアリングより作成

図9 安乗地区における海女のライフタイム

	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時
海女漁業の操業		家事		出漁 用意	操業	休憩	操業	休憩 昼食	操業	休憩	セ リ	家事 →						
民宿での勤務(12h)		家事		民宿での仕事				家事	民宿での仕事				家事					
民宿での勤務(6h)		家事		出漁 用意	操業	休憩	操業	休憩 昼食	操業	休憩	セ リ	民宿での仕事				家事		

出所;ヒアリングより作成

資料:坂田美穂「海女の就業構造と漁業管理に関する研究」(H7年度修論)引用

海女漁業の効率性Ⅱ

□ 1日当たりの漁獲金額

1日当たりの漁獲金額	石鏡(いじか)	40～50代	
		8400～18000円	
	安乗(あのり)	40～60代	60代以上
		32500～60300円	7450円

資料: 坂田調査により(H7年度)

注: 石鏡の場合は、操業日数を100日とする試算。安乗の場合は、操業日数を70日とする試算

一般的に、スーパーなどでのパートタイムによる所得
仮に、時給:800円 1日の労働時間:6時間 で計算すると、
1日当たりの所得:4,800円にすぎない

海女漁業の現状

- 海女従事者の減少
- 資源の減少
- 高齢化の進展
- 労働環境の厳しさ



諸機能の喪失

あま従事者数の推移(全国・三重)

	全国		三重県	
	海士	海女	海士	海女
1975年	11,209	10,609	393	4,183
1985年	11,696	8,164	345	3,063

資料:大喜多甫文「わが国の「あま」の分布とその増減に関する一考察」『漁業経済研究』(1978年)より。

あま従事者数の推移(答志)

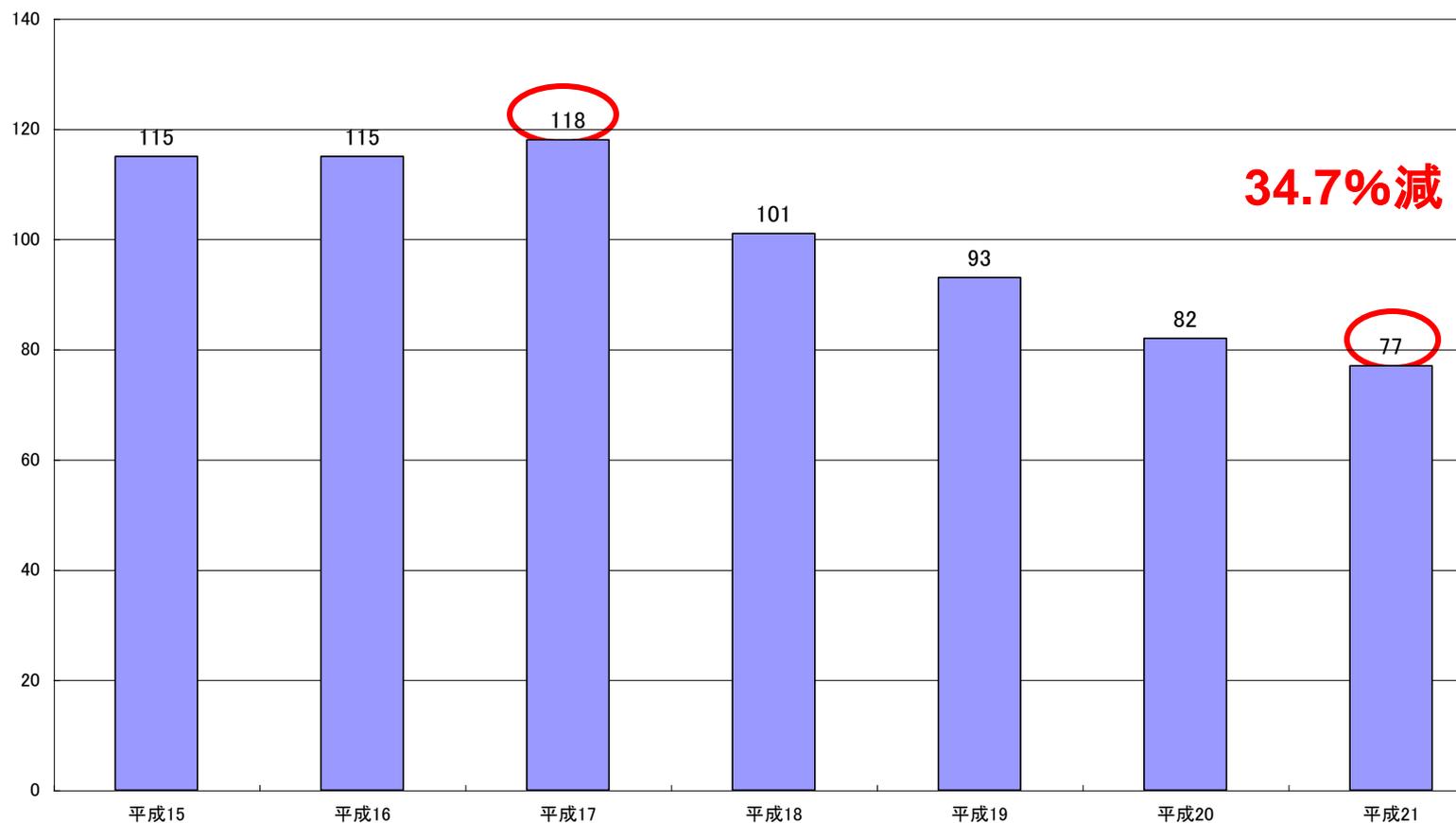


図2. 鳥羽磯部漁協答志支所あま従事者数推移

資料: 鳥羽磯部漁協答志支所より

水揚げの推移

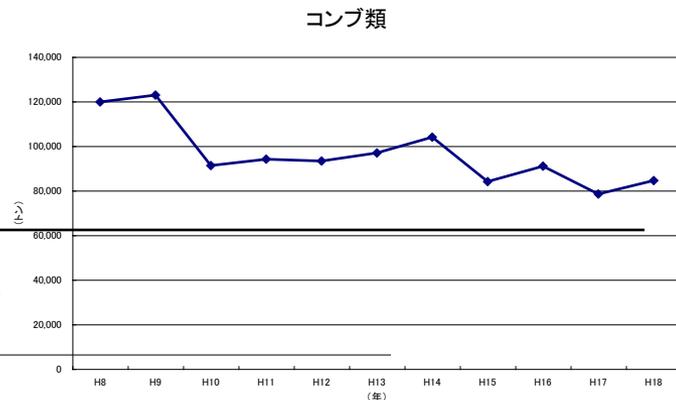
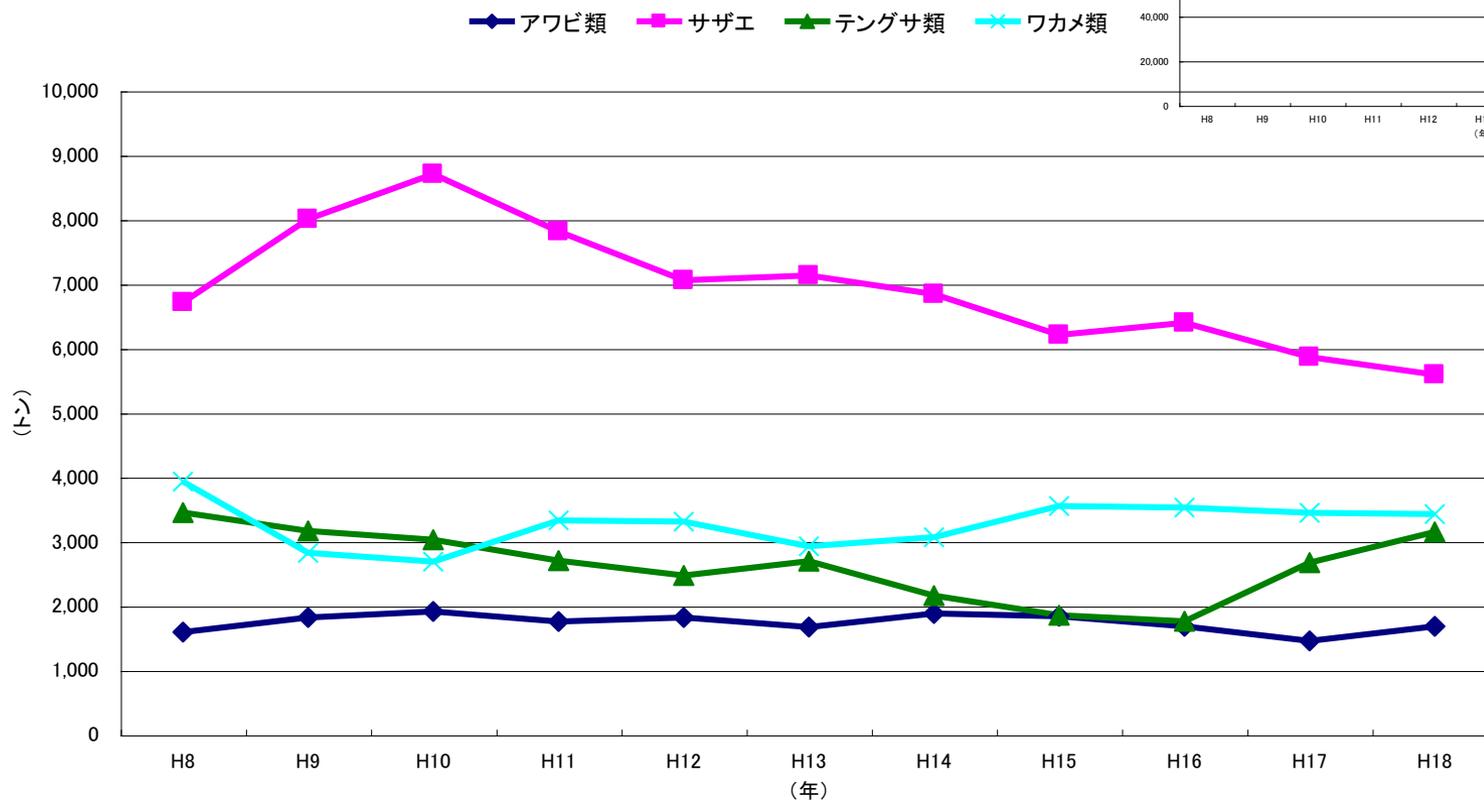


図3. 海女漁業の主な漁獲対象水産物資源の水揚げ量の推移

資料:「漁業・養殖業生産統計年報」より

労働環境の厳しさ

□ 省略

愛知大学・愛知短期大学の山本茂紀(Shigetoshi Yamamoto)先生と、愛知短期大学の山本和子(Kazuko Yamamoto)先生の両先生により、関連研究に関する報告がすでになされた為(前回報告)

他の漁業との競合によるもの

表3. 漁業経営体漁獲物・収穫物販売金額規模(2008年)

漁獲物・収穫物の販売金額規模	潜水器漁業	割合(%)	採貝・採藻	割合(%)	漁業経営体全体	割合(%)
計	1,043	100.0	19,842	100.0	115,196	100.0
販売金額なし	8	0.8	124	0.6	812	0.7
100万円未満	185	17.7	9,042	45.6	34,214	29.7
100～300	256	24.5	5,137	25.9	23,140	20.1
300～500	185	17.7	3,074	15.5	17,003	14.8
500～800	138	13.2	1,582	8.0	11,950	10.4
800～1,000	89	8.5	472	2.4	6,285	5.5
1,000～1,500	111	10.6	280	1.4	6,725	5.8
1,500～2,000	33	3.2	54	0.3	3,881	3.4
2,000～5,000	25	2.4	49	0.2	6,530	5.7
5,000万円～1億円	8	0.8	19	0.1	2,535	2.2
1億～2億円	4	0.4	7	0.0	1,148	1.0
2億円～5億円	1	0.1	2	0.0	647	0.6
5億円～10億円	-	-	-	-	200	0.2
10億円以上	-	-	-	-	126	0.1

□ 海士の増減要因(大喜多甫文により)

- ・資源量の多少・・・多ければ、増える
- ・他漁業の盛衰・・・不振であれば、増える
- ・簡易潜水器使用の有無・・・無制限であれば、増える
- ・資源保護のための規制の強弱など・・・強ければ(ところ)、増える

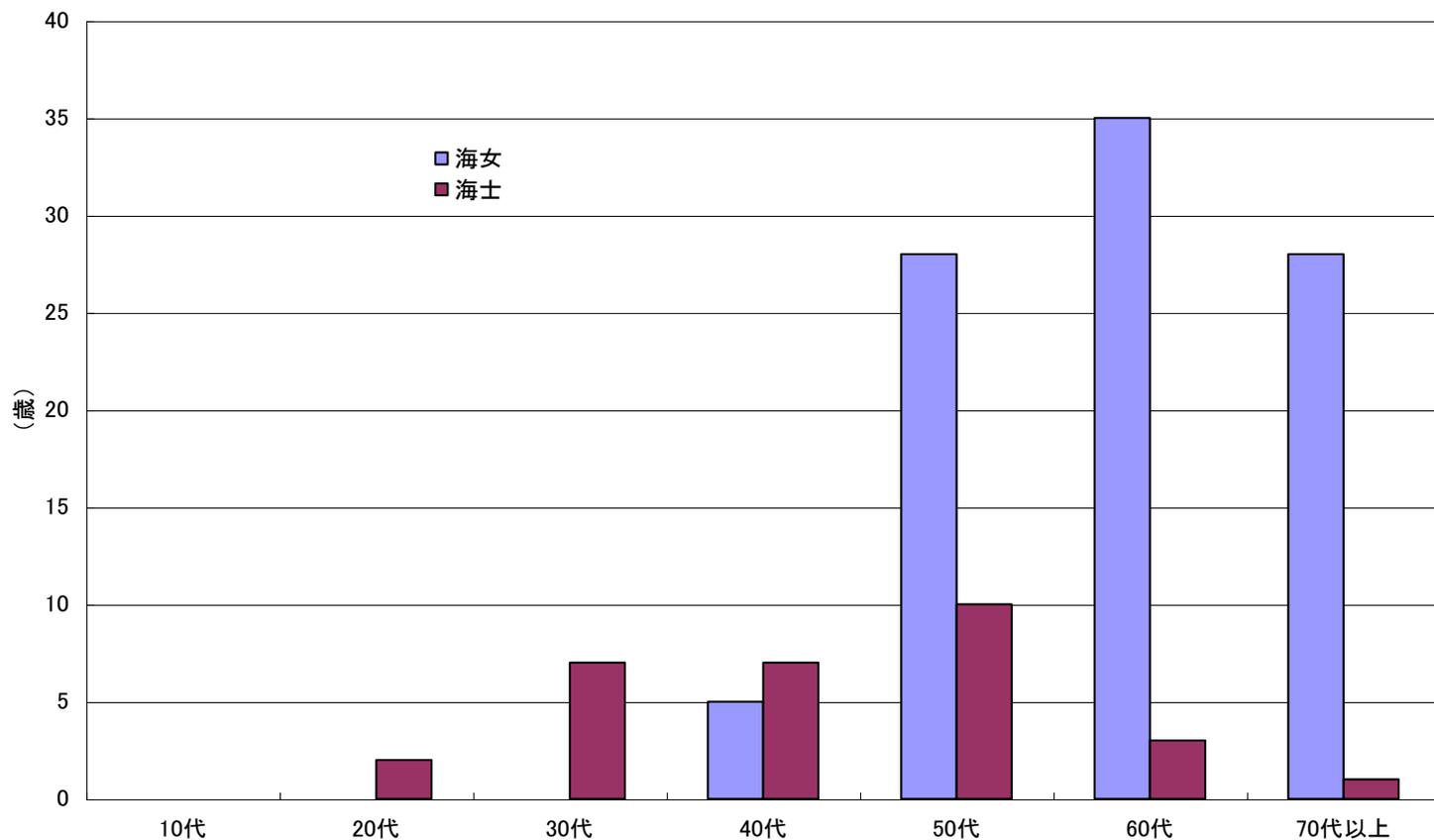
若い海女の減少理由:

「労働が激しい」、「皮膚が黒くなる」という理由によるものが多い。

【参考文献】

大喜多甫文(Toshifumi Ohkita)「わが国の「あま」の分布とその増減に関する一考察」,『漁業経済研究』第24巻第2号,p73-74, 東京大学出版会。

高齢化の進展



40代以下海女がない

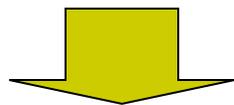
図4. あま従事者の年齢構成(答志・H20年12月現在)

資料: 答志支所の資料により作成

海女漁業を存続させるために(=課題)

- * 他の漁業との調整
- * 新しい流通ルートの構築など

「海女漁業」の付加価値を高めるための
‘糸口’探し



海女漁業のスタイルチェンジ

【参考資料】 主な出荷先別経営体数

単位：経営体

漁獲物・収穫物の 販売金額規模	計	漁協の市場 又は 荷さばき所	漁協以外の 卸売市場	流通業者・ 加工業者	小売業者	生協	直売所	自家販売	その他
計	115 196	82 159	15 434	6 063	2 608	31	715	4 983	3 203
販売金額なし	812	74	24	21	7	-	1	4	681
100万円未満	34 214	22 274	3 864	1 161	1 298	9	320	3 486	1 802
100～300	23 140	16 614	3 485	1 273	588	7	171	799	203
300～500	17 003	12 357	2 753	969	315	4	111	328	166
500～800	11 950	8 829	2 009	677	139	2	56	124	114
800～1,000	6 285	4 928	877	306	53	2	14	49	56
1,000～1,500	6 725	5 563	701	303	45	2	15	55	41
1,500～2,000	3 881	3 247	321	203	27	1	12	44	26
2,000～5,000	6 530	5 195	628	508	75	2	8	50	64
5,000万円～1億円	2 535	1 806	346	297	37	-	6	22	21
1～2	1 148	763	193	160	12	-	1	8	11
2～5	647	372	127	116	10	-	-	9	13
5～10	200	87	66	37	2	2	-	2	4
10億円以上	126	50	40	32	-	-	-	3	1

資料：「漁業センサス」（2008）より



□ 「専業あま」とは？

その地区の1年間の全潜水日数中、半分以上の潜水日がある人、または水揚金額ではっきり専業的と判断できる人をいう。
(一般的には年間数十万円以上の水揚がある人)

□ 「副業あま」とは？

1年間のうち1日以上潜水した人で、全潜水日数中、半分以下口開け日のみ潜水したり、夏2-3日潜水して貝類を採取するような人である。